

令和 6 年度

自己評価報告書の概要

令和 7 年 6 月 30 日

武蔵野栄養専門学校

令和 7 年 6 月 30 日

令和 6 年度 学校関係者評価報告書

学校法人後藤学園
武蔵野栄養専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人後藤学園武蔵野栄養専門学校「学校関係者評価委員会」は、令和 6 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下の通り報告致します。

1. 学校関係者評価委員（「武蔵野栄養専門学校 学校評価要綱」による選出）

- ・学校の専門分野における業界関係者（同第 5 条第 2 項第 1 号）

益子 純子 氏 株式会社 藤江 代表取締役

- ・卒業生（同第 5 条第 2 項第 2 号）

藤澤 弘之 氏 東都給食 株式会社 代表取締役社長

- ・卒業生（同第 5 条第 2 項第 2 号）

飯島 敬子 氏 本校卒業生

- ・卒業生（同第 5 条第 2 項第 2 号）

植田 雄一 氏 医療法人 梅原病院

- ・高等学校校長、進路指導担当者等（同第 5 条第 2 項第 3 号）

関山 勝之 氏 東京都立 府中西高等学校 校長

• 基準1 教育理念・目的・育成人材像

【自己評価結果】

| | 評価項目 | 適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1 | | | |
|-------|----------------------------------|---------------------------|---|---|---|
| 1-1-1 | 理念・目的・育成人材像は、定められているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1-1-2 | 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1-1-3 | 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1-1-4 | 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

学校関係者評価委員会からのご意見等

- 適正である。
- 「身体で覚えた技術は一生を貫く」「優れたプロは優れた人格を有する」といった学園の理念が、校訓や教育方針に一貫して表れており、学生の技術力だけでなく人間性の育成にも注力されている姿勢は、専門職教育機関として誠に意義深い。
- 年度スローガン「エイヨウ、未来、切り拓ケ。」のもとで掲げられた重点目標とその実施状況は、職員全体が理念を共有し、変化に対応した教育実践を進めている証左と捉えている。
- 重点施策等、具体的な内容があると良い。

改善策

卒業生が活躍する業界のニーズを把握した上で、さらなる理念や学校目標の達成に向けたカリキュラムの検討・申請に取り組む。また、入学者数の達成に向けて SNS を活用した広報活動や教職員によるガイダンス対応、出前授業などの募集活動に注力していく。

• 基準2 学校運営

【自己評価結果】

| | 評価項目 | 適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1 | | | |
|-------|---------------------------|---------------------------|---|---|---|
| 2-2-1 | 理念に沿った運営方針を定めているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 2-3-1 | 理念等を達成するための事業計画を定めているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 2-4-1 | 設置法人は組織運営を適切に行っているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 2-4-2 | 学校運営のための組織を整備しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 2-5-1 | 人事・給与に関する制度を整備しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 2-6-1 | 意思決定システムを整備しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 2-7-1 | 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

学校関係者評価委員会からのご意見等

- ・学生数の観点から自己評価が下がっているところもあるようだが 2-2-1 および 2-4-1 については、適切の「4」と判断してもよいのではないか。
- ・ホームページ等の情報が良くまとまっている。
- ・計画はあるが、具体的に期限があると良い

改善策

運営方針を全職員で共有し、教育活動に反映させていく。また、5 か年計画である NEXTEP PJ や広報戦略会議を継続し、学生数確保に向けた学校運営を実現する。

・ 基準3 教育活動

【自己評価結果】

| | 評価項目 | 適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1 | | | |
|--------|--------------------------------|---------------------------|---|---|---|
| 3-8-1 | 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3-8-2 | 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3-9-1 | 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 3-9-2 | 教育課程について、外部の意見を反映しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3-9-3 | キャリア教育を実施しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3-9-4 | 授業評価を実施しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3-10-1 | 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 3-10-2 | 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 3-11-1 | 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3-11-2 | 資格・免許取得の指導体制はあるか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 3-12-1 | 資格・要件を備えた教員を確保しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 3-12-2 | 教員の資質向上への取組を行っているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 3-12-3 | 教員の組織体制を整備しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

学校関係者評価委員会からのご意見等

- ・評価や認定書の発行がなされている以上は、3-10-1 および 3-10-2 は適切な「4」と判断してもよいのではないかと。
- ・教職員の人材確保についてはどこも苦慮している。
- ・コンテスト等を積極的に活用し、教育成果を外部に広く発信をしていくことが必要である。
- ・カリキュラムのDX化は高校でも進んでおり、学生はすでにその環境に慣れている。今後も引き続き推進していただきたい。
- ・カリキュラムの見直しや、外部委員を含めた教育課程編成委員会の設置、栄養士実力認定試験「認定A」取得を目指した授業展開、授業評価アンケートの定期的な実施等、教育の質の向上に向けた多面的な取り組みがなされており、高く評価される。

改善策

教育の質向上に向けて、授業評価の活用や教育課程の見直しを継続的に実施するとともに、認定A取得を目標とした指導体制をさらに充実させる。また、DX化への対応として、これまで学園のパソコンルームを3校合同で使用していたが、各校にパソコンルームを設置し、ハード面での整備を行った。今後は、ICTを活用した授業展開や教材の整備を推進し、学生に適した教育内容となるよう検討を進めていく。さらに、外部委員の意見を取り入れたカリキュラム改革を通じて、社会的ニーズに応じた人材を育成する。

• 基準4 学修成果

【自己評価結果】

| | 評価項目 | 適切:4 | ほぼ適切:3 | やや不適切:2 | 不適切:1 |
|--------|---------------------|------|--------|---------|-------|
| 4-13-1 | 就職率の向上が図られているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 4-14-1 | 資格・免許取得率の向上が図られているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 4-15-1 | 卒業生の社会的評価を把握しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

学校関係者評価委員会からのご意見等

- ・就職率 100%であり、適切な「4」と判断してもよいのではないか。
- ・退学者 0 を目指すのはかなり難しい事である。
- ・就職支援だけでなく、学生が明確な目標を持てるような支援が重要である。
- ・教職員の熱意と連携により、就職率・栄養士免許取得率 100%といった成果が得られており、専門学校としての教育目標が確実に実現されている。今後は、退学者数の抑制、卒業後の追跡調査とそのフィードバック、資格取得支援のさらなる充実などを通じて、「成果の継続性」と「教育の見える化」が求められる段階にあると感じる。

改善策

高い就職率・資格取得率を維持するため、また学生が明確な将来像を描けるよう、キャリア教育や個別指導を充実させる。卒業生の社会的評価については、追跡調査とフィードバック体制を整備し、教育や就職支援の質向上に活用する。栄養士実力認定試験や関連資格取得支援も継続的に行っていく。

・ 基準5 学生支援

【自己評価結果】

| | 評価項目 | 適切:4 | ほぼ適切:3 | やや不適切:2 | 不適切:1 |
|--------|-----------------------------------|------|--------|---------|-------|
| 5-16-1 | 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 5-17-1 | 退学率の低減が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 5-18-1 | 学生相談に関する体制を整備しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 5-18-2 | 留学生に対する相談体制を整備しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 5-19-1 | 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 5-19-2 | 学生の健康管理を行う体制を整備しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 5-19-3 | 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか | 4 | 3 | ② | 1 |
| 5-19-4 | 課外活動に対する支援体制を整備しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 5-20-1 | 保護者との連携体制を構築しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 5-21-1 | 卒業生への支援体制を整備しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 5-21-2 | 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか | 4 | 3 | ② | 1 |
| 5-21-3 | 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

学校関係者評価委員からのご意見等

- ・ 包丁研ぎをはじめ、課外活動に関する対応など、柔軟に対応できているので、適切な「4」と判断してもよいのではないか。
- ・ 保健室や、マニュアルが整備されている。学校医は不在で合っても、適切な対応がなされているのであれば、適切な「4」と判断してもよいのではないか。
- ・ 退学者を出さないためのケアは今後も継続してほしい。
- ・ Google Classroom を活用した就職指導記録の一元化、スクールカウンセラーの定期的配置、奨学金制度の柔軟な運用など、学習・生活・心理・経済の各側面から学生に寄り添う支援がなされている点は、大きな安心感を生んでいる。
- ・ 退学率目標の達成や、カウンセリング・個別相談体制の充実に向けた環境整備は、学生の定着率向上にも貢献するものと評価される。

改善策

就職支援では、Google Classroom を活用した情報共有と記録の一元化を継続し、支援内容の質と効率性を高めていく。退学率のさらなる低減に向け、担任やスクールカウンセラーとの連携を密にし、学生の不安や課題を早期に把握・対応する体制を強化する。

• 基準6 教育環境

【自己評価結果】

| | 評価項目 | 適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1 | | | |
|--------|-----------------------------------|---------------------------|---|---|---|
| 6-22-1 | 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 6-23-1 | 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 6-24-1 | 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 6-24-2 | 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

学校関係者評価委員からのご意見等

- ・カリキュラムの都合上、平日にインターンシップを行うことが難しい点はやむを得ないのではないかと懸念している。
- ・ホームページやブログでウェットシステム（長靴着用）が目に入り、就職後のドライシステムへの適応が難しいのではないかと懸念している。
- ・設備の老朽化に対しては、計画的な改修・機器更新・AV 設備の整備などが適切に行われており、教育効果の維持・向上に向けた努力が伺える。防災・防火対策においても、防災訓練や避難体制の見直しが組織的に実施されており、教育安全性の観点からも一定の安全性が確保されていると判断できる。

改善策

施設設備の老朽化に対しては、引き続き計画的な修繕を進め、快適かつ安全な教育環境の維持に努める。実習環境については、現場のニーズを踏まえ、就職後を見据えた在り方について検討していく。インターンシップに関しては、希望者への情報提供と支援体制の構築を引き続き模索する。防災・安全管理体制については、マニュアルの整備と学生への周知を徹底する。

• 基準7 学生の募集と受入れ

【自己評価結果】

| | 評価項目 | 適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1 | | | |
|--------|--------------------------------|---------------------------|---|---|---|
| 7-25-1 | 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 7-25-2 | 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 7-26-1 | 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 7-26-2 | 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 7-27-1 | 経費内容に対応し、学納金を算定しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 7-27-2 | 入学辞退者に対し授業料等について適正な取り扱いを行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

学校関係者評価委員会からのご意見等

- 学生の定員充足率だけで評価するのではなく、現状の入学者数を基準に組み替える視点も必要ではないか。
- 出前授業等の取り組みはどのような状況か。こうした活動は、今後の入学者数増加に寄与する可能性があるため、積極的な展開が望まれる。
- 多数回にわたる体験入学の実施は高く評価される。参加機会の充実が、入学者数の確保に大きく貢献していると考えられる。
- 体験入学や高校訪問、SNS 活用を含む広報活動の工夫がなされており、広報局との連携強化、入試制度の柔軟化、入学金減免制度の導入など、入学希望者の多様なニーズに応じた取り組みが見られた。ただし、今後も少子化・志望者減少という外部環境に備え、教育の魅力や成果を「数値」と「物語」の両面から効果的に伝える戦略が重要となる。

改善策

出前授業など外部との接点を拡大し、入学者数の増加につながる取り組みを強化する。体験入学の実施を継続しつつ、教育の魅力や成果を「具体的な実績」や「在校生・卒業生の声」などを通じて可視化し、ホームページや SNS 等、多様な広報手法を駆使して戦略的な情報発信を行う。

• 基準8 財務

【自己評価結果】

| | 評価項目 | 適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1 | | | |
|--------|------------------------------------|---------------------------|---|---|---|
| 8-28-1 | 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか | 4 | 3 | ② | 1 |
| 8-28-2 | 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 8-29-1 | 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 8-29-2 | 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 8-30-1 | 私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 8-31-1 | 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

学校関係者評価委員会からのご意見等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰の影響を受ける中での実習はとても苦労されていると思う。 ・厳しい財務状況下においても、Web 予算管理の導入や支出の見直しなどにより、一定の改善努力が認められる。監査体制や情報公開も適切に実施されており、ガバナンスの観点からも信頼性を確保する運営がなされている。 |
|---|

改善策

| |
|--|
| <p>定員の見直しにより充足率は改善傾向にあるが、収支差や支払資金の状況は依然として厳しい。財務健全化に向けた経営改善計画は引き続き進め、予算の厳格な管理を徹底する。耐震工事は教育活動との両立を前提に、今後計画を具体化していく。</p> |
|--|

• 基準9 法令等の遵守

【自己評価結果】

| | 評価項目 | 適切:4 | ほぼ適切:3 | やや不適切:2 | 不適切:1 |
|--------|---------------------------------|------|--------|---------|-------|
| 9-32-1 | 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 9-33-1 | 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 9-34-1 | 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 9-34-2 | 自己評価結果を公表しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 9-34-3 | 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 9-34-4 | 学校関係者評価結果を公表しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 9-35-1 | 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

学校関係者評価委員からのご意見等

- ・難しい面もあるとは思いますが、今後も引き続き継続して取り組んでいただきたい。
- ・自己評価や学校関係者評価の体制が整備され、結果が外部に公開されている点は、透明性の高い教育機関としての責任を果たしているものとする。

改善策

法令遵守や自己評価体制を基盤とし、教育の質の向上と透明性の確保を図る。個人情報保護については、適切な管理を徹底するため年1回の研修を実施し、日常的な注意喚起も継続して行っていく。教育情報の公開も定期的に更新し、信頼性の高い学校運営に努める。

・ 基準 10 社会貢献・地域貢献

【自己評価結果】

| | 評価項目 | 適切:4 | ほぼ適切:3 | やや不適切:2 | 不適切:1 |
|---------|--------------------------------|------|--------|---------|-------|
| 10-36-1 | 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 10-36-2 | 国際交流に取り組んでいるか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 10-37-1 | 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っている | ④ | 3 | 2 | 1 |

学校関係者評価委員会からのご意見等

- ・留学生の受け入れはどのような状況か。
- ・豊島区をはじめとして、外部へ向けた活動を積極的に行っていただきたい。

改善策

入学者確保の観点からも留学生の受け入れは積極的に検討すべきではあるが、卒業後の就労資格が認められる在留資格の中に「栄養士」が含まれていない現状があり、受け入れには慎重にならざるを得ない。今後は地域との連携をさらに強化し、教育資源を活用した講座の開催や施設の貸し出しを通じて、社会貢献を推進していく。また、学生のボランティア活動を積極的に支援し、豊島区をはじめとした地域と協働しながら、継続的な貢献体制の整備を進めてく。